

#### アンケートの概要

目的

国籍にかかわらず、だれもがお互いに安心して暮らいている状態を目指し、<u>地域の担い手側から見た現状や課題を確認する目的</u>で実施。

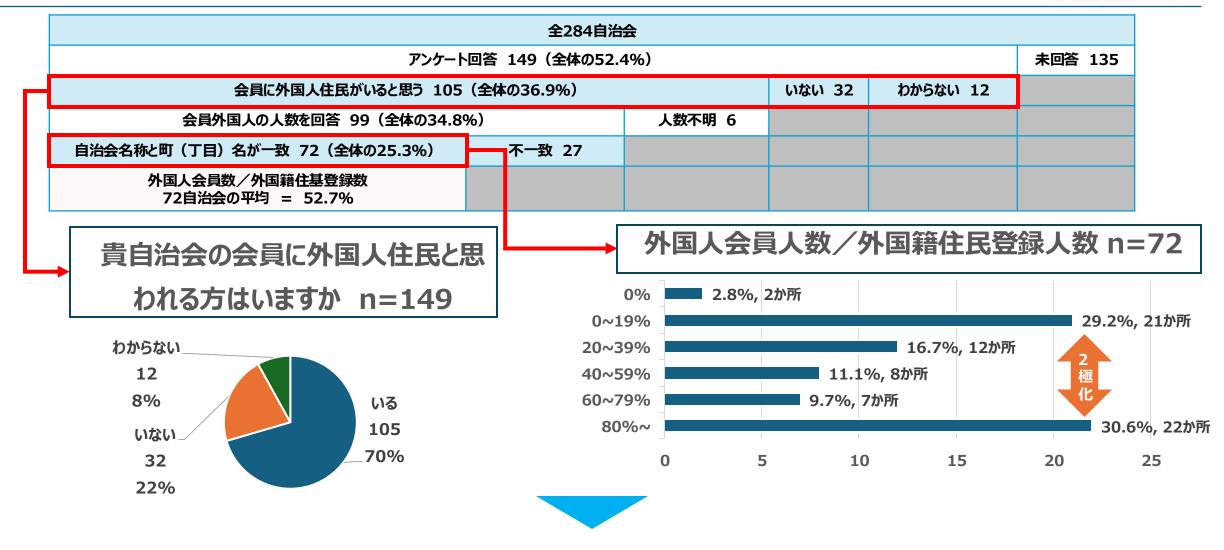
調査の対象 前橋市内自治会 284団体 自治会タブレット経由

	答	数
--	---	---

文		送付数	有効送付数※	回収数	回収率 回収数/有効送付数
	合計	284	284	149	52.4%

※アンケートのほか、日本語学校、専門学校、大学、ハローワークでのヒアリング、太田市窓口視察、住民基本台帳の外国籍住民登録状況調査など実施

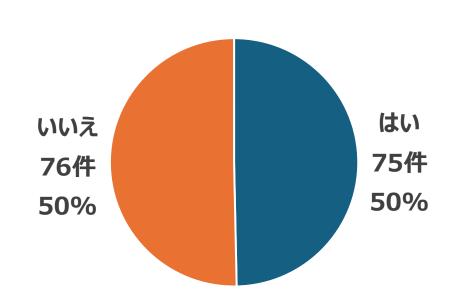




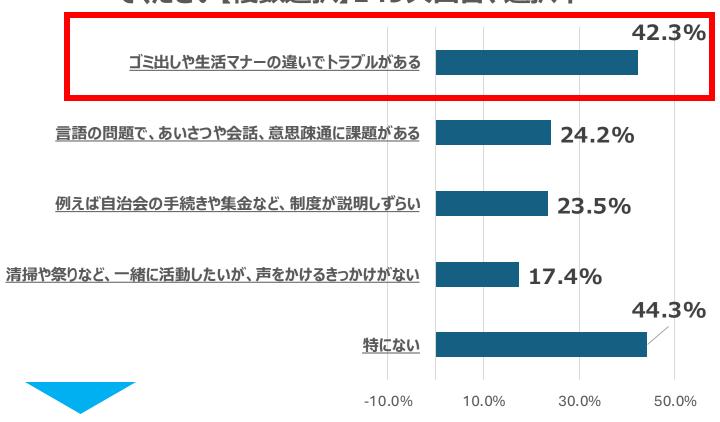
外国人住民の会員人数/住基登録人数 平均52.7% ※前橋市全体の2024年自治会世帯加入率は84.5%



会員・非会員を問わず、外国人住民との 地域生活で課題を感じることはありますか n=149



特に課題感が大きく、市役所の支援が必要と感じるものを選択してください【複数選択】149人回答、選択率

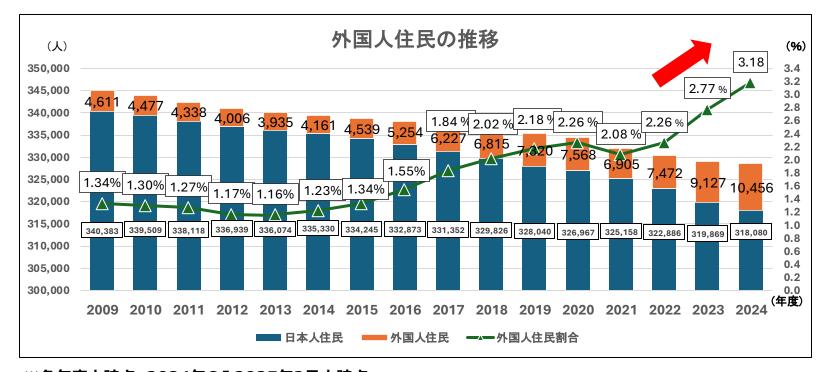


ゴミ出しや生活マナーのトラブルなど、約半数の自治会は課題を感じている

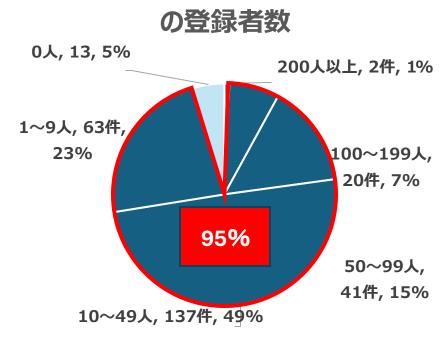


課題の分類	アンケート意見等から抜粋	対応する取組検討の例	取組で生み出したい効果	重点事業31最終成果	
地域住民	市の相談窓口を設けてほしい	·多文化共生体制強化 ·外国人相談窓口強化	地域の困りごとの相談先がある状態		
↑↓ 行政	市からの情報がほしい	・多文化共生に関する自治 会への情報提供	市や他の自治会の取組事例を 知っている状態	全ての人が文化や生活習慣の違いを理解し合い、認め合い安心して暮らしている状態を目指します	
地域住民	外国人住民との言葉の壁 (コミュニケーションがとれない・ 通訳センターがあれば)	・Mデジの活用	タブレットやスマホの翻訳機能を 使える状態		
↑↓ 外国人住民		・やさしい日本語講座	やさしい日本語を使える状態		
外国人住民	転入時に生活ルールを伝え、指 導してほしい	・QRコード一覧など情報提供 方法の検討	転入時にもれなく情報提供でき る状態	地域住民が外国人住民 を安心して迎え入れる体 制づくりが必要	
↑↓ 行政	ルールを守る義務感が伝わるか	・W E B コンテンツの充実	ポータルサイトや、アプリの内容が 充実した状態		





町別(丁目別)外国籍住民



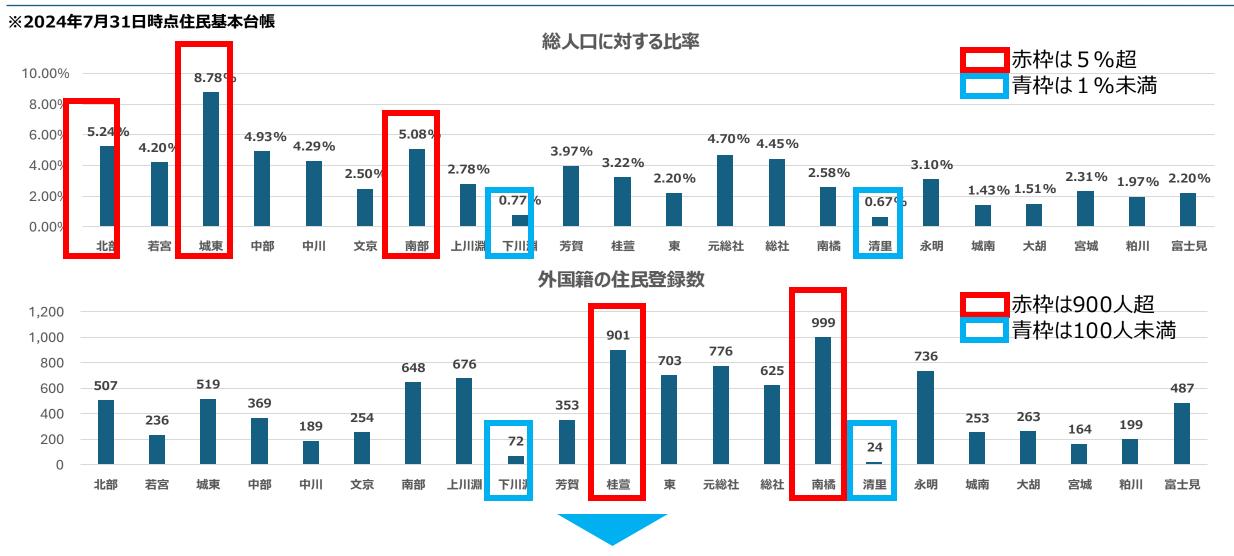
※2024年7月31日時点住民基本台帳

※各年度末時点、2024年のみ2025年2月末時点



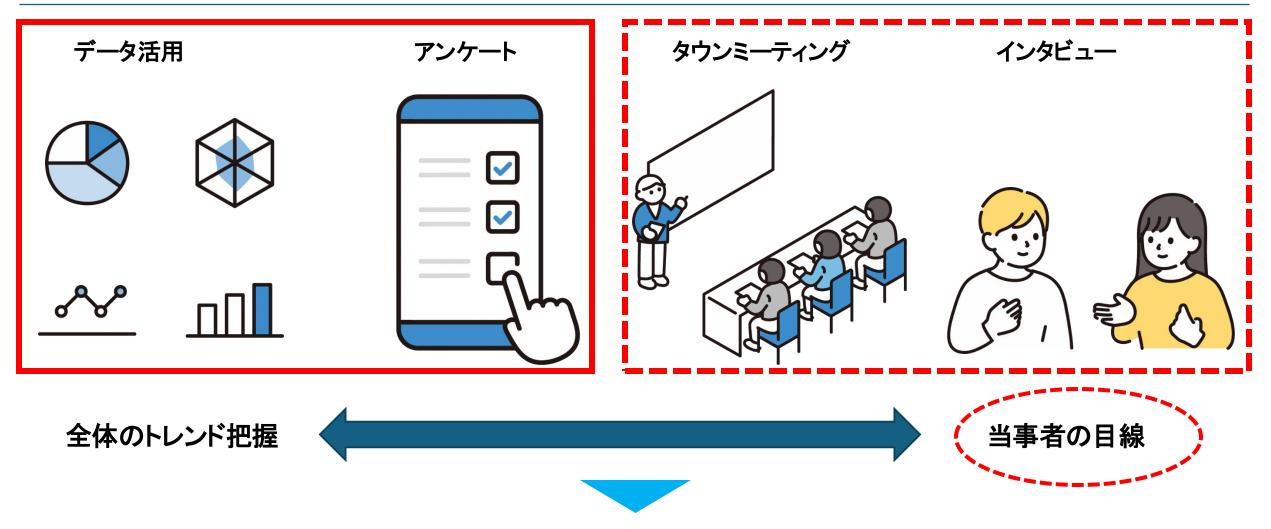
外国人住民は近年急増、市内の95%(263/276)の町でともに生活 ⇒外国人だけでなく、みんなの問題として捉える必要性





一方で、同じ市内でも地域差が大きく、必要な支援も異なる可能性あり ⇒地域別の事情や状況にも目を向ける必要性





今回の報告内容は全体トレンドの把握に重心 次期総合計画検討に向け、個別インタビューも施策反映できるよう取組を推進





子育て

特別支援児童生徒数•不登校児童生徒数推移



\_\_\_\_\_ 児童生徒数

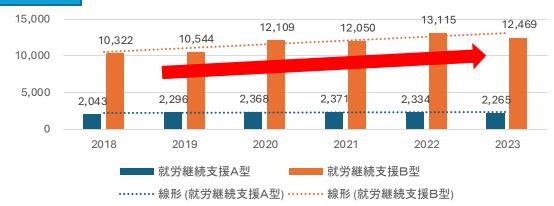
保育施設入所児童数(人)2・3号

—●— うち特別支援児童生徒数

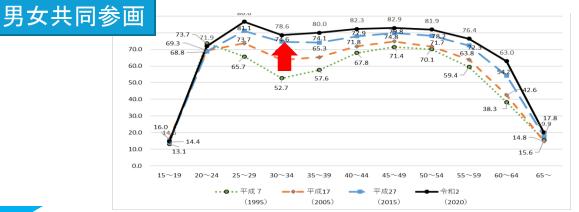


#### 障害福祉

#### 就労継続支援(A型·B型)実績(日/月)



女性の労働力率推移(M字カーブ)



外国人住民 = 人口減少のなかでも、対象者が増加している分野の一つとして注目

⇒多様化・複雑化する社会課題の切り口を探す着眼点